

町消防団・2部門で奨励賞に輝く 第19回 綴喜消防操法大会



小型ポンプ操法の部



ポンプ車操法の部

去る7月29日、京都府消防協会綴喜支部主催の操法大会が開催され、本町をはじめ京田辺市・八幡市・井手町の2市2町の消防団代表が参加し、日頃の練習の成果と技を競い合いました。選手の皆さん、本当にご苦労さまでした。

本町代表選手は次のとおり(敬称略)

小型ポンプ操法の部

第2分団第5部(緑苑坂)

辻村一哉・近藤敏宏・原田賢治・松田有史

ポンプ車操法の部

第2分団第1部(郷之口)

井山 滋・松原慎也・中嶋 剛・田中厚行・垣見 武

團総務課(☎88-6631)

地震に備えて

いつ起こるかわからない地震 日頃からの準備が大切

日本は地震の多い国です。平成7年に発生した阪神・淡路大震災をはじめ最近では平成16年の新潟県中越地震、今年7月の新潟県中越沖地震でも多くの被害が発生しています。地震はいつ起こるかわかりません。地震に関心を持ち、日頃から備えるとともに、いざというときに適切な行動がとれるように地震の際の心構えを身につけておきましょう。

日頃からの対策

- 火災発生時の防止
消火器を用意し、取扱方法を身につける。
- 石油ストーブは「対震自動消火装置付」、ガスストーブは「転倒時ガス遮断装置付」のものを使用。
- 家具の転倒防止、落下物への対策
家具転倒防止金具での固定、ガラス飛散防止シートの張り付け。
- 重いもの、硬いもの等を棚や家具の上など高いところには置かない。
- ブロック塀・門扉の点検
基準どおりの鉄筋が入っているか、ひび割れや傾きはなかななどの点検。必要があれば修理や補強工事、生垣に変えるなどの対策を講じる。
- 家族の安否の確認方法
地震時に落ち合う場所等(避難場所・避難経路も確認)を予め決めておく。

グッときたときは

- 身の安全の確保
丈夫な机やテーブルの下に身をかくし、座布団等で頭部を保護。
- 玄関等の扉や窓を開けて脱出口を確保。
- 火元の確認と初期消火
使用中のコンロ、ストーブ等の火を消す。
- ガス器具は元栓を締め、家電類はコンセントから抜く。
- 避難する場合は、ブレーカーを切ってから。
- 万一出火したら、大声で隣近所に声をかけ、協力して初期消火に努める。
- 正しい情報の入手
テレビ、ラジオや役場、

運転中に地震がきたときは

- ハザードランプ等を点灯の上、徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車しエンジンをきる。
- カーラジオで災害情報を確認。
- 警察官等が交通規制を行っているときは、指示に従う。
- 避難するときはキーをつけたままにし、ドアロックもしないで徒歩で避難。

避難するときは

- 家族の安全を確認の上、徒歩で避難(ガラスの破片等から足をまもるため、靴やスリッパをはく)。
- 揺れがおさまるまで周囲の状況を確認し、慌てて外に飛び出さず落ち着いて行動する。
- 狭い路地、ブロック塀や自動販売機、がけや川べりには近寄らない。
- 山ぎわや急傾斜地では山崩れ、がけ崩れが起こりやすいので、役場からの避難情報に注意するとともに、早めの自主避難を心がける。

協力しあって救出・救護

- 倒壊家屋や転倒家具の下敷きになった人を隣近所で協力し、救出・救護活動を行う。

團総務課(☎88-6631)

NTT災害用伝言ダイヤル

災害発生時は電話がつながりにくくなります。そんなとき「171」に電話をかけると、伝言を録音したり再生したりすることができます。

録音方法

「171」にダイヤルする→「1」をプッシュ
→被災者の電話番号・伝言内容

再生方法

「171」にダイヤルする→「2」をプッシュ
→被災者の電話番号

※他の地域で災害が起こったときも、被災地の人が「171」で伝言を発信していないか確認してみましょう。

※詳細はNTT発行の「ハローページ」またはホームページをご参照ください。

救急医療週間 9月9日~15日

緊急性がなく自分で医療機関へ行ける場合
自家用車やタクシー等の利用を!

最近の救急出動では、緊急性のない病気やケガによる出動要請が増加しており、搬送された患者のうち約6割が軽症者で占められています。

▶このようなケースが目立ちます

「タクシーを呼ぶとお金がかかるから」
「どこの病院にいけばいいのかわからないので」

傷病者の様子や事故の状況から、急いで病院へ連れて行った方がよいと思った時には、迷わず119番通報をしてください。

團消防分署(☎88-5500)

ご存知ですか

『AED』(自動体外式除細動器)

心臓が止まっている(痙攣しているような)状態を自動的に判断して電気ショック(除細動)を行う機器です。

☆早期電気ショック(除細動)の重要性!

1分遅れるごとに救命率が7~10%低下。蘇生成功のカギは迅速な電気ショックと心肺蘇生を行うことです。

▶AED設置箇所(公共施設)

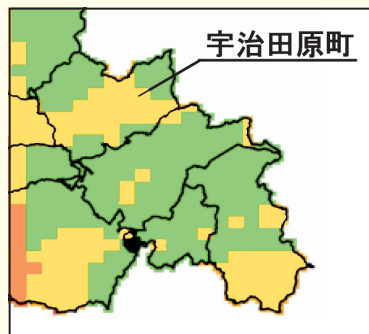
役場、総合文化センター、保健センター、住民体育館、維孝館中学校、消防分署、やすらぎ荘

◎消防分署では普通救命講習会を開催しています。(毎月第2土曜日に開催・事前申込必要)

團消防分署(☎88-5500)

京都府内の活断層

— 京都府地震被害想定調査委員会報告より —
 (同委員会では次の22の活断層、東南海・南海地震での震度予測、被害想定等を調査)



宇治田原町

今世紀前半に発生する可能性が高いと言われている東南海・南海地震(同時発生)での震度予測

- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強

宇治田原町に大きな影響を及ぼす活断層等

名称	町内での最大震度	名称	町内での最大震度
和束谷断層	震度6強	光明寺金ヶ原断層	震度5強
木津川断層帯	震度6強	埴生断層	震度5強
生駒断層帯	震度6強	檜原水尾断層	震度5強
黄檗断層	震度6弱	上町断層帯	震度5強
琵琶湖西岸断層帯	震度6弱	亀岡断層	震度5弱
東南海・南海地震(同時発生)	震度5強	養父断層	震度5弱
宇治川断層	震度5強	郷村断層帯	震度5弱
桃山・鹿ヶ谷断層	震度5強	若狭湾内断層	震度5弱
殿田・神吉・越畑断層	震度5強		

※町内での最大予測震度が5弱以上の活断層等です。
 ※花折断層帯、奈良盆地東縁断層帯、有馬高槻構造線は現在調査中



地震の揺れと想定される被害

震度2	<ul style="list-style-type: none"> 屋内にいる人の多くが揺れを感じる 眠っている人の一部が目覚ます 電灯などのつり下げ物がわずかに揺れる 	震度5強	<ul style="list-style-type: none"> 非常に恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる 棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる タンスなどの重い家具や自動販売機が倒れることがある 自動車の運転が困難になる
震度3	<ul style="list-style-type: none"> 屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる 恐怖感を覚える人もいる 棚にある食器類が音を立てることがある 電線が少し揺れる 	震度6弱	<ul style="list-style-type: none"> 立っていることが困難になる かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する 耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものがある
震度4	<ul style="list-style-type: none"> かなりの恐怖感がある 眠っている人のほとんどが目覚ます つり下げ物は大きく揺れ、棚にある食器類は音を立てる 電線が大きく揺れ、歩いている人も揺れを感じる 	震度6強	<ul style="list-style-type: none"> 立っていることができず、はわないと動くことができない 固定していない家具のほとんどが移動、転倒する 補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる 耐震性の高い木造住宅でも、壁や柱がかなり破損するものがある
震度5弱	<ul style="list-style-type: none"> 一部の人は行動に支障を感じる つり下げ物は激しく揺れ、棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある 窓ガラスが割れて落ちることがある 電柱が揺れているのがわかる 	震度7	<ul style="list-style-type: none"> 揺れにほんろうされ、自分の意思で行動ができない ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある ほとんどの建物で壁のタイル、窓ガラスが破損、落下する 補強されているブロック塀も破損するものがある 耐震性の高い住宅でも傾いたり、大きく破壊するものがある
参考	<ul style="list-style-type: none"> ● 震度0：人は揺れを感じない。 ● 震度1：屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。 ● 阪神・淡路大震災(平成7年1月)での最大震度…震度7 ● 新潟県中越地震(平成16年10月)での最大震度…震度7 ● 新潟県中越沖地震(平成19年7月)での最大震度…震度6強 		

広域避難場所・一次避難場所

広域避難場所…大規模な災害により、多数の人々が日常生活圏を越えて大移動するような広域的な避難に適する場所です。

名称	所在地
住民グラウンド	岩山
維孝館中学校グラウンド	岩山
宇治田原小学校グラウンド	岩山
田原小学校グラウンド	郷之口
奥山田ふれあい広場	奥山田
銘城台自然公園	銘城台
てんじんやま公園	緑苑坂

一次避難場所…広域避難場所へ避難する前の中継点として、避難者が一時的に集合して様子を見る場所です。各区公民館・自治会館が一次避難場所になっています。

安心・安全メール 携帯配信中
 ～地域の安心・安全情報にご注意を～

anzen@k-anshin.pref.kyoto.jp

地震や注意報・警報等の気象情報、防災・防犯情報等を住民の皆さんに素早く伝え、被害の発生や被害の拡大防止に役立ててもらうことを目的に運用されています。
 利用方法は上記のメールアドレスに空メールを送信し、返信されてくるメールに従い手続を行うことにより簡単に登録できます。

図総務課(☎88-6631)



緊急地震速報 10月1日スタート

図総務課(☎88-6631)・京都地方気象台防災業務課(☎075-841-3006)

「緊急地震速報」は、震源に近い観測点で地震を検知し、直ちに震源や地震の規模(マグニチュード)などを推定し、大きな揺れがせまっていることをお知らせする情報(テレビ・ラジオ等で)です。この情報を聞いて、大きな揺れが始まる前に行動をとることにより、地震被害の軽減が期待されます。

気象庁では、周知・広報を今後推進し、本年10月1日から提供が開始される予定です。
 なお、緊急地震速報の仕組みや「利用の心得」などについては、気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>)をご覧ください。